

**「令和8年度経営指導員等及び事業者を対象としたDX研修企画運営業務」
企画提案競争 審査基準**

審査項目	審査基準	配点
1. 業務に対する理解度及び業務の基本方針	①業務目的を深く理解し、妥当な成果目標が設定されているか。 ②効果的かつ実施可能と判断できる基本方針や戦略が提示されているか。	10
2. 業務に関する具体的な提案		
(1) 経営指導員等を対象とした研修の企画・有効性	①経営指導員等の日々の業務や事業者のDX推進に向けた役割を理解し、それを踏まえた内容となっているか。 ②事業者のデジタル化の潜在的なニーズの引き出し、適切な専門家へ繋げる能力を向上させる内容となっているか。 ③研修後も継続して、事業者の多様な経営課題とデジタル化の関連性を認識できる内容となっているか。 ④参加者数を計45名以上とし、実施形式を対面での開催としているか。	25
(2) 事業者を対象とした研修の企画・有効性	①経営層と担当者層、それぞれの役割に応じた内容が明確で、事業者内のDX推進体制構築を支援する具体的方策が示されているか。 ②「体験 → 内省 → 実行計画策定」のステップが効果的に組み込まれ、受講者が研修後に具体的なアクションを起こせる実践的な内容になっているか。 ③DX未推進の事業者も参加しやすいような配慮がされているか。 ④研修修了後に、既存事業をスムーズに検討・申請できる内容となっているか。 ⑤参加事業者数を計20社以上とし、適切な実施形式としているか。	25
(3) 両研修共通の運営	①座学だけでなくワークショップを含んだ形式としているか。 ②デジタル技術を体験できる内容としているか。 ③講師、補助員（受講者5～6名に1人）は講師や補助員の実績を踏まえた適切な人員を配置しているか。 ④広報・参加者募集・受付体制が効果的に計画されているか。	15
(4) 追加提案	本仕様書に加えて、本業務の趣旨に合致し、より効果的・実践的な研修実施に繋がる、具体的な創意工夫や追加提案があるか。	5
3. 業務遂行体制	①本業務を円滑に実施できる組織体制か。 ・窓口責任者は、業務においてプロジェクトマネージャー又はリーダーを経験するとともに、チームビルディングに長けている適切な人材が配置されているか。 ②本業務が円滑に実施できるスケジュールか。	10
4. 類似業務の実績	直近2年間に官公庁、自治体より事業者のDX推進に向けた研修の受託実績があるか。	5
5. 従事者の「仕事と家庭の両立支援」や「女性活躍推進」に関する取組	①しまね子育て応援企業（こっころカンパニー）、しまね女性の活躍応援企業のいずれか一つに該当する（3点） ②しまね子育て応援企業（こっころカンパニー）、しまね女性の活躍応援企業の両方に該当する（5点） ※コンソーシアムの場合、代表者及び構成員のうち1者の認定及び登録状況を採点の対象とする。	5